

課題提示型教材 3 「パスワードは大切に」

1. 対象 小学校高学年
2. 指導目標 本人を識別する手段としてパスワードがあることを知らせると共に、自分のパスワードをきちんと管理しようとする態度を育てる。
3. 授業展開
 - ※本教材は、提示板の利用体験があることが望ましい。

段階	学習活動	留意点
導入	身近にあるパスワード、暗唱番号について話し合う。	銀行のキャッシュカードやレンタルビデオの会員証を例に出して簡単に意味を説明する。
展開	<p>○教材視聴 課題提示型教材 3 「パスワードは大切に」を視聴する。</p> <p>○課題提起 1 「まさしはうそつきだ。みんな信用するな」というメッセージを書いたのは誰でしょうか。</p> <p>○課題提起 2 ひろしさんは、どうしたらよかったですでしょうか。</p> <p>○解説 解説ページを参照し、パスワード管理の大切さについて再認識する。</p>	<p>自分たちにも起こりうることであることを認識させる。</p> <p>場面 3 の聞き耳を立てている怪しい影に注目させる。</p> <p>パスワード管理を安易に考えていた主人公の言動に目を向けさせる。</p> <p>好ましいパスワードの付け方についても、簡単に触れるようにする。</p>
整理	<p>○自分たちの取るべき態度について、全体で話し合う。</p> <p>○ワークシートに授業の感想を書き、本時の学習をまとめる。</p>	他人のパスワードを使わないとする感想も引き出した。